

大阪府森林所有者通信

2009.05 Vol.16

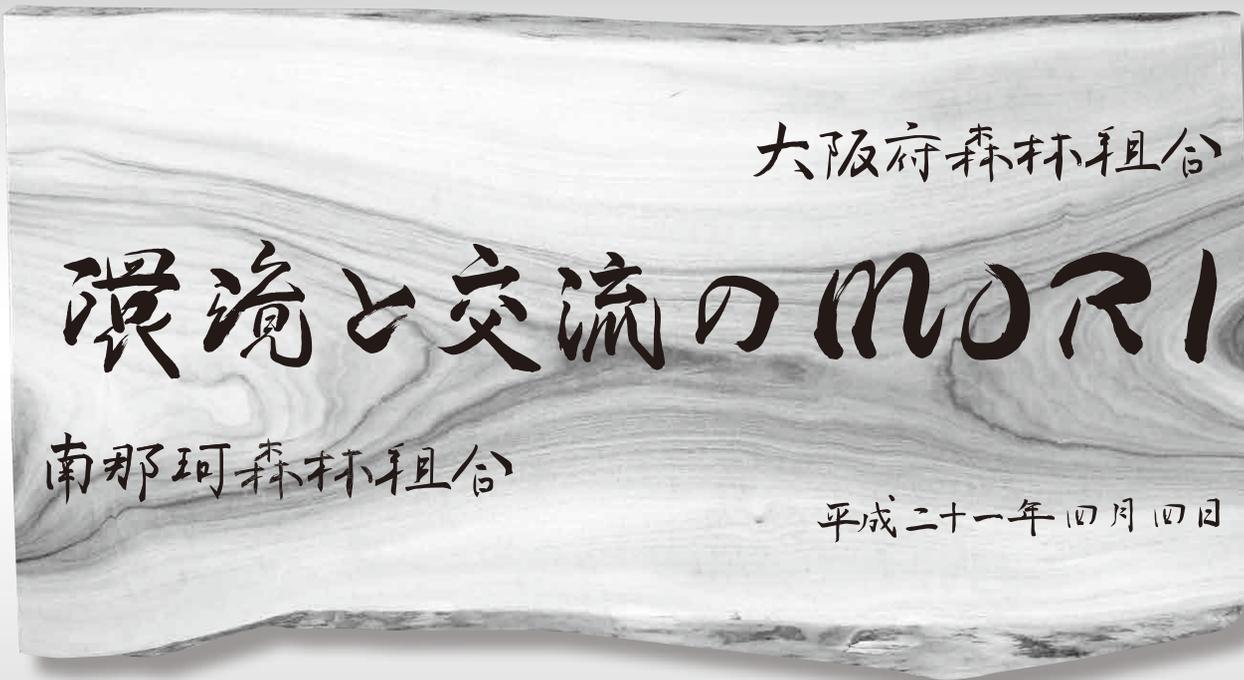


「子どもたちとともに植樹（環境と交流のMORI造成記念植樹祭）」

Contents

氏原組合長逝去……………	2	大阪府内産「ヒノキ」を使用した新商品……………	6
花粉の少ない森林づくり対策事業……………	2	安全に刈払機を使用していただくために……………	7
環境と交流のMORI造成記念植樹祭……………	3	林業総合センターをご利用ください……………	7
支店のトピックニュース……………	4	自然公園サイン……………	7
森林観光センターだより……………	5	木材市況……………	8
建築事業部 最新プロジェクト……………	5	日々活躍 組合職員紹介……………	8
大阪産（おおさかもん）への取り組みについて……………	6	森林環境税導入要望の経過について……………	8

環境と交流のMORI 造成記念植樹祭



現地に設置された、木製の看板

ようやく合併の動静が収まりかけた平成14年11月、当組合は時を同じくして合併した宮崎県南那珂森林組合と友好組合提携を締結しました。

「まち」と「やま」、それぞれ特徴をもつ森林組合同士であり、どのような提携関係を構築できるのか、手さぐり状態でのスタートでした。



平成14年11月の友好組合締結

翌年4月に南那珂森林組合が本所を置く串間市内の森林に「末永い友好関係を祈念した『大阪の森』」を造成していただき、当組合をはじめ、大阪府からも多数の参加者を数え、大阪の森の植樹に汗を流しました。

その後、職員の交流を兼ねた研修や情報交換などを通じて性格の異なる両組合が将来に向け隆盛できるような相互扶助の関係を深めてまいりました。

一方、当組合の内部では串間市内に造成していただいた『大阪の森』のお礼として、大阪府内に『宮崎の森』を造成する計画が検

討されつづけ、『大阪の森』の造成から6年を経過した平成21年4月、河内長野市内の高向神社有林をフィールドにした『環境と交流のMORI』の造成が実現しました。

その名前の由来は、昨今、都市住民の森林に対し大きな期待が寄せられる「環境」と森林をもっとよく知ってもらうための「交流」を冠につけ、「MORI」は単に「森」という意味だけでなく「Miyazaki・Osaka・Remember・Interaction（宮崎と大阪の銘記される交流）」の頭文字から名付けられました。

気圧の谷が近づき、今にも雨粒が落ちてきそうな天候であった4月4日、招待者及び両組合、総勢230余名が出席のもと、『環境と交流のMORI』造成記念植樹祭を河内長野市高向地区の同現場で執り行いました。



来賓の大阪府島田部長(写真:右)と河内長野市芝田市長の挨拶

会場はすり鉢状の地形で住宅地を抜ける道路からも斜面が見通せる絶好のロケーション。もともとは笹と雑木が生い茂る鬱蒼とした場所でしたが、組合職員及び作業班が1ヶ月かけて、地元招待者から「こんな場所があったのか？」との声があつたぐらい、植樹祭会

場にふさわしい整備を施しました。当日は関係各所から多数のご来賓をお招きし、大阪の府木であるイチヨウや宮崎の県木であるヤマザクラ、南那珂森林組合から寄贈いただいた少花粉のオビスギとヒノキなどを植栽していただき、新たに誕生する森のスタートをお祝いいただきました。



子どもたちのコーラスで幕を揚げる



少花粉「オビスギ」の贈呈

途中、雨つぶが落ちてくる場面もあり、関係者をヒヤヒヤさせましたが何とか式典と植樹作業を執り行うことができました。



両組合の今後の隆盛に互いがエールを送る



230余名が植樹にいそむ

いろいろ至らぬ点もありましたが当日の出席者からも「いい植樹祭でした」とのお言葉をいただき、準備に携わったスタッフ一同、労をねぎらわれたように感じました。

当組合では、次代の森林整備の担い手育成の場としても活用し、このフィールドを適正に管理していく所存です。

豊能地域の 組合施設について

豊能支店

能勢町森林組合時代より皆様に親しまれ、各種研修や地区推進協議会の会場として利用してきた旧豊能支店ですが、4月1日付けをもって建物を能勢町に譲渡することになりました。

昭和52年に鉄筋コンクリート2階建てで開設された旧林業総合センターは、当時、森林組合の協業施設としては群を抜いた豪華な建物であり、能勢町内の森林・林業の一時代を支えた施設であることは間違いありません。

会議室や和室なども備えていたことから、ご利用いただいた組合員の方も多数、おられるのではないのでしょうか。

合併後は豊能支店として、能勢・豊能・箕面という大阪北摂地域の森林を守り育てるための拠点として利用してきました。

今後は能勢町主導のもと、施設をリニューアルし、図書館機能を付与した地域活性化の施設として平成21年度中にオープン予定と聞いています。

長年、慣れ親しんだ施設ではありませんが、新たな施設として生まれ変わり、能勢町民の皆様に愛される施設となればと考えております。

また豊能出張所についても町施策の都合により4月15日で一旦閉鎖しますが、今後、豊能町・箕面市・両地区推進協議会と話し合いながら早期開設に向けて進めていきたいと考えております。

組合員の皆様には、ご不便をお掛けしますが、ご相談やご質問、事業のご依頼などは、豊能支店（072・734・0125）で承りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

地籍調査の理解を深めるために ～「地籍調査講習会開催」～

三島支店

平成17年度から「国土調査法に基づく地籍調査」事業に取り組む三島支店では、関係者に対し地籍調査の知識と理解、事業推進への協力を求めるために、府と共催で「大阪府三島地域地籍調査講習会」を行政関係者、山林所有者を中心に139名が参加のもと2月6日に開催しました。

前半の講演では全国国土調査協会常務理事をはじめ、調査実施地域である高槻市川久保地区地籍調査推進委員の荒木委員長から地籍調査の基礎知識や実体験に基づいた現地立会の流れや成果について、苦労話を交えた解りやすい説明を受けました。

後半は当時、調査中であった高槻市中畑地区へ移動し状況を視察。ここでは測量機器操作の説明や中畑地区地籍調査推進委員の参

加による立会の状況説明や体験談等を話していただきました。

講習会終了後には「早期に調査を実施してほしい」「自分の代で地籍をしっかりと確定して子供や孫へ伝えたい」「各地域での啓発活動が必要」といった希望や指摘をいただいております。

現地調査が完了した地域では、「山の境界が確認する事が出来て良かった」との声も寄せられ、森林整備事業が円滑に進むなど効果も出てきています。

同事業の推進には組合員の皆様のご協力が不可欠です。

調査対象となった際は、事業へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。

支店のトピックニュース

刈払機の研修・講習会のお知らせ

南河内支店

今年度に入り、全国的に林業作業中の事故が多発しており、被災者もベテランから担い手研修を終了した経験の浅い方まで、また原因も多岐に渡っていることから、安全衛生教育の徹底と各個人が基本に忠実に作業を行うということが求められています。

労働災害増加の傾向は大阪府内も変わらず、今年度、森林組合の作業現場で重大事故が発生していることから、当組合としても林業現場での労働災害を未然に防ぐための方策に全力を挙げる必要性を痛感しています。

南河内支店では、その一環として事故発生日の毎月9日を「安全の日」と定め、安全衛生会議や現場での研修・講習を開催します。

その中で、6月と11月は現場にて林業技術及び安全衛生に関する研修を実施する予定としております。

本研修は組合全体で安全衛生につながる取り組みといたく、組合員の皆様も、ぜひ、この機会にご参加いただきたく考えております。

研修要項は左記のとおりですので、参加を希望される方は南河内支店までお申し込み下さい。

尚、11月は千早方面で安全の実施研修を開催する予定です。

記	
日 時	平成 21 年 6 月 9 日 (火) PM1:00～
集合場所	宮の下駐車場(花の文化園)
内 容	下刈作業時の危険予知と緊急時対応の教育訓練
持ち物	現場で作業が出来る服装、ヘルメット、足袋など
申込先	大阪府森林組合 南河内支店 TEL0721-63-0850
担当	菊川まで

地域の木材が展示物に

泉州支店

泉州支店では、大阪府立弥生文化博物館からの依頼を受け、特別企画展への展示アイテムとして地元産の木材を納品させていただきました。

これは同館が4月25日より6月7日の間、開催を予定している企画展「弥生建築―卑弥呼のすまゝい―」で展示されるもので、メインは遺跡などから発掘された建築材料を展観することで、当時の建物に思いを馳せながら、さまざまな建築様式や建物を支えていた木組みとともに、木の加工道具などを紹介するというもので、考古学のみならず建築や木材に興味のある方なら楽しんでいただける企画展となっています。

その中で泉州支店からは、現在、どのように木取りを行い、板目・桎目は、どの部分を指すのかがわかるカットモデルと丸太を加工したイス、また来館者に木材の香りを体感させるものとしてプレナーの削り粉を納品させていただきました。

過去と現在の比較というサブ的な役割ではあるものの大阪府内産材は十二分にアピールできるものと考えています。

弥生文化博物館では期間中、特別講演会も予定されていますので、この機会にぜひ訪れてみては、いかがでしょうか？



弥生文化博物館

Topics

森林観光センターだより

お問い合わせ
072(688)9400

森林観光センターは、まじょ、よりのも、いささか遅い春が過ぎ、周囲の自然も青々とした新緑に彩られつつあります。

この春、当センターでは季節限定のお料理、「春ご膳」(3月14日～4月19日)の評判がよく、「年々内容がよくなつていく」、「鯛の桜蒸しなど、季節感バツグンの演出だ」などのお褒めに預かりました。

また北摂地域を中心に、大阪市内や堺、東大阪、八尾方面からも園内の桜の花見をしながらの食事に大勢お見えいただきました。そして次回作「夏ご膳」(5月23日から、6月28日までの期間を予定)の準備に入らせていただいております。

春同様、榎田温泉ご入浴と(JR高槻駅またはJR亀岡駅)までの送迎付で、2名様(ご来園の2日前までにご予約ください。)からご予約いただけます。また新メニューといたしまして「里山炭火焼レストラン ささゆりの里」では、本場丹波産天然山くじらBBQ(猪肉)を始めました。



夏ご膳 (写真は昨年のもの)

ご来園の節には是非一度ご賞味ください。



じびえ料理「山くじらバーベキュー」

高槻森林観光センター・榎田温泉の最近のニュースといえば、大阪府が推進する「大阪ミュージアム構想」に3部門(①みどり・自然 ②芸能・娯楽 ③食・生活)に登録されました。

「大阪ミュージアム構想」とは「大阪府内各地にある建築物や橋、歴史的なまち並みや商店街といった有形のものからお祭りなど身近にあるものを展示品として発掘し、磨き上げ、結びつけるというコンセプトのもと進められる施策です。」という事業。

当施設が選出にあたり、推薦していただいた投稿文は「大阪の市

街地からわずかに走るだけで、こんなに緑豊かな自然が残っているのかと驚いてしまうロケーションと、昭和の時代を色濃く残した施設の雰囲気。この地域独特の料理と地元露地野菜や手創りの品々の販売。前を流れる小川での川遊びやサワガニとり、自然の風景。とりわけ昔の景色がここには残っています。年配者から幼児まで楽しめる施設です。」というものです。

施設の特徴をよく捉えられていただいていると感心するとともに、さらによりよいサービスに努めようとスタッフ一同の士気が上がっています。

このような推薦をいただき、ますます営業に磨きをかけながら、いつまでも変わらない景色と風景を皆様にお届けいたします。

森林観光センターのブログを開設しました。季節の料理やお得な情報も掲載されるので、ぜひご覧ください。ブログへは「森の中でくつろぐ」で検索してください。

高槻市大字田能小字的谷2番地

交通のご案内
【公共交通機関での来場】
JR高槻駅北口より高槻市営バス2番乗場 系統番号60～63番 「榎田方面」行き乗車森林センター前下車すぐ

【お車での来場】
国道171号線「今城町」交差点を北へ(府道6号枚方亀岡線)約30分

建築事業部 最新プロジェクト

大阪府内産材を使った長期優良住宅

(2000年住宅)への新たな取り組み

様々な税制優遇が受けられる「長期優良住宅」

国土交通省により進められてきた、長期にわたり良好な状態で住むことができる優良な住宅「長期優良住宅」を認定する制度「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が、平成20年6月4日に施行されます。

この法律では、構造躯体の劣化対策、耐震性、維持管理・更新の容易性、可変性、バリアフリー性、省エネルギー性、計画的な維持保全等を備えた優良な住宅について、所管行政庁に申請し、認定を受けると、住宅ローン減税の拡充や固定資産税の減額適用期間の延長等、様々な税制優遇が受けられます。

大阪府内産材 長期優良住宅

大阪府森林組合建築事業部でもこの「長期優良住宅」を大阪府内産材で建築し、木材需要の拡大を図るため、一級建築士事務所「なちゆるら・さーかす」(代表 茅原守雄氏)と提携し、大阪府内産材による長期優良住宅の制作に向けたプロジェクトを進めています。

詳細は随時ホームページ等でお知らせし、最終的なモデルプランを平成21年6月頃に発表致します。地産地消で高性能な省エネ型自然住宅を、少しでもお安くご提供できるように、製材から設計、建

築まで、様々な工程の改善を進めております。是非ご期待下さい。

長期優良住宅セミナー開催

大阪府内産材 長期優良住宅の発表に先駆け、茅原守雄氏(一級建築士)によるセミナーを南河内林業総合センター(ラ・フォレスト)にて開催致します。「環境・省エネ」「健康」「耐震・耐久」「税制優遇」をテーマに全4回を予定しております。

第1回目のテーマは「環境・省エネ」。長期優良住宅における環境・省エネの取り組みを中心に、平成21年4月1日から募集が始まっている「住宅用太陽光発電導入支援対策補助金」等の内容もご説明致します。また、当日は関西電力によるオール電化シミュレーション等も予定しておりますので、是非ご参加ください。



以前開催した住宅セミナー

この他にも様々なイベントを企画しております。お気軽にご参加ください。

お問い合わせ 建築事業部
0120-630-854

0120-630-854
http://www.sinrin.org

すまい展(奈良)バスツアー

○平成21年5月24日(日) 9:00～16:30

9:00 花の文化園 宮ノ下駐車場 出発
(河内長野駅、富田林駅 経由)

10:50 丸産業住まい展 見学&昼食

12:50 長谷寺 見学(特別拝観、観光ガイド付き)

16:30 宮ノ下駐車場到着

参加費1,000円 先着40名様

事前申込必要
0120-630-854

地産地消の木造住宅セミナー(長期優良住宅の勧め)

○第1回:平成21年7月12日(日) 13:00～16:00
「環境・省エネ住宅」講師:茅原守雄氏(一級建築士)
オール電化シミュレーション&IHデモ等
場所:南河内林業総合センター「ラ・フォレスト」
(千早赤阪村東阪1238-5)
参加費:無料 先着20名様

(今後の予定)

○第2回:平成21年7月26日(日)

○第3回:平成21年8月30日(日)

○第4回:平成21年9月27日(日)

事前申込必要
0120-630-854



大阪産(おおさかもん)への取り組みについて



八軒家浜でのイベントブース



橋下知事に檜枕の商品説明

大阪府では大阪の食とみどりの豊かさをPRし、大阪産品のイメージアップと消費拡大、地域の魅力づくりをすすめる、農林水産業や地域の振興を図ることを目的に、生産団体をはじめ消費者団体などの、さまざまな団体が連携・協力するおおさか食べ歩き推進協議会が一昨年度、設立されました。

協議会では「大阪産(おおさかもん)」というネーミングで大阪

産品を一体的にPRするほか、食べ歩き情報を発信するなど地域の魅力づくりに取り組まれます。

この「大阪産(おおさかもん)」におおさか河内材をはじめとする木製品、また大阪産が食べられる施設として高槻森林観光センターが登録されています。

すでに3月28日、大阪市内天満橋駅周辺の八軒家浜において行われた「花降る季節(とき)の川

の市」に際し、他ページで紹介している檜枕とボールペンを「大阪産(おおさかもん)」として森林組合が出展したブースに商品を並べ、一定数量を販売することができました。

組合としても今後、この「大阪産(おおさかもん)」のロゴを多方面かつ他商品で使用することにより、大阪府内産木材の周知を図るよう努めていきたいと考えています。

大阪府内産「ヒノキ」を使用した新商品

大阪産(ボールペン・シャープペンシル)

今、地元の木材を使用するさまざまな商品が開発されています。その中で三菱鉛筆から、ご提案いただいたのは、なんと筆記用具。当組合が供給したヒノキプロックを特殊な手法により圧縮し、硬度を高めたことでボールペン・シャープペンシルのボディに用いることが可能となり、「大阪産」と名づけられた商品が誕生しました。

大阪府内では大手文具店で販売していますが、当組合でも販売しておりますので、お問い合わせください。

価格は一般のものよりも少々お高くなっていますが、ほのかにヒノキの香りが漂い、金属にはない温かみを感じさせる商品です。ご自身でお使いになるだけでなく、贈り物や記念品にぴったりと思います。



書き味は信頼の三菱鉛筆製

大阪の和 極上檜枕

一方、モルダ加工時に発生するヒノキの削り粉を利用したマクラも開発し、一部店舗で販売を開始しています。

ご存知のようにヒノキの香りからはストレス軽減やリラックス効果があることが知られています。このヒノキの削り粉を大手有名寝具メーカーも使用する袋状になった生地の中に入れ、商品として仕上げました。

発売を前に組合職員が就寝時に使用してみたところ、長年、起床時に肩や首のあたりのこわばりに悩んでいたものが緩和されるなどの声があり、一定の効果が見られました。

今後、ネットショップや有名百貨



削り粉からヒノキの香りが漂う

貨店での販売も予定されており、皆様にお目にかかる日も近いのではないかと思います。

組合員様特別価格にて頒布

このたび新商品の販売開始を記念して組合員の皆様に特別価格による販売をさせていただきます。

「大阪産」は通常価格ボールペン及びシャープペンシル各2,100円(税込み)のところ、各**1,600円(税込み)**に、ボールペンとシャープペンシルをセットでお買い求めの場合は先着30名様**3,000円(税込み)**で販売させていただきます。

別料金になりますがネーム入れも承ります。

また「大阪の和 極上檜枕」は通常価格5,040円(税込み)のところ、先着30名様**3,800円(税込み)**で販売させていただきます。

上記価格は各支店でのお渡しとなります。ただし送料をご負担いただければ宅配も承ります。

ぜひこの機会にお買い求めください。



ボールペンとシャープペンシル



快眠のためのアイテム

安全に刈払機を使用していたくために

梅雨から秋口までは刈払機を利用した草刈作業が農地・林地に関わらず行われます。同時に刈払機による事故が集中する時期でもあります。南河内支店トピックスでお知らせしたような講習をきっちり受け、刈払機を正しく使用することが肝要ですが、ここで紹介する、ちょっとした知識を持っておくことで、さらに安全に快適に使用することができます。

はじめに

刈払機を使用していて、急に調子が悪くなったり、止まったりしたことはありませんか？機械の調子が悪くなると時間と労力の無駄になるだけでなく、事故につながる危険性が高まります。

また久しぶりに刈払機を使って作業をしようという時に、エンジンがかからないで困ったことはありませんか？

ここでは、いざという時に役に立つ豆知識をご紹介します。

Q エンジンはかかるけどすぐに止まったりふかすと止まるのはなぜ？

A1.
エアクリナーの汚れやつまりを確認してください。エアクリナーの汚れはキャブレターへの空気の流れを阻害し、適正な運転に影響を及ぼします。

対策 ●●●●●

●チョークレバーを「閉」にし、気化器の中にゴミが入らないようにして、エアクリナーを外し、軽くたたきなどして、ゴミやホコリを取り除きます。



空気の流れをスムーズに

A2.

燃料タンクの空気穴（逆止弁）のつまりを確認してください。この穴が詰まると外気が遮断され、燃料タンクから燃料がキャブレターに流れなくなり、結果としてエンジンが止まってしまいます。

対策 ●●●●●

●周辺の掃除をするとともに、燃料タンクの空気穴を調べ、つまっているときは、針や針金などで穴を通します。ブリーザー（空気流入

機）が設置されている機種については、汚れを確認し、場合により交換を行います。

めはできません。

おわりに

ちょっとしたメンテナンスや対処方法を覚えておくと、いざというときに役立つだけでなく、常に刈払機を最良の状態で使用することは、機械の安全性を高めることにもつながります。

刈払機やチェーンソーなど林業機械の使用に際して不明な点などがありましたら、そのままにせず、お近くの森林組合事務所までお気軽にお問い合わせください。



目立ても重要な作業です

自然公園サイン

最近、自然歩道や公園を散策したり、ハイキングしたりする方が増えています。大阪府をはじめ公共団体においても環状自然歩道や府民の森などを整備し、市民のニーズに応えています。山中に設置された施設であることから特に木部の腐朽や劣化は避けられません。

特に方向を示す誘導サインは、劣化すると情報が読み取れなくなり、快適な施設利用に支障をきたす重要な役割を持った施設です。

このたび自然公園にマッチする誘導サインをとの大阪府からの要望を受けて、当組合も加盟する大阪府木材利用促進協議会が中心と

なり、新しいサインを開発しました。

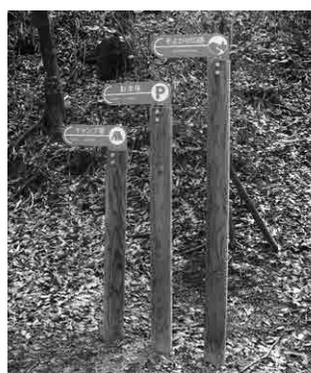
「ONEサイン」と名づけられた新しい製品は、これまで1本で多情報を担っていた役割を1本1情報とし、見やすいサインとしました。

支柱には高耐久化処理した丸棒、板面にはステンレスを用いることで、厳しい環境下でも長期間使用に耐えうる仕様としています。

今年は大阪中部のくろんど園地、ほしだ園地、岸和田市の神於山に設置されましたので、その方面にお出かけの際には、ぜひサインも見ていただければと思います。



神於山に設置されたサイン



くろんど園地に設置されたサイン

林業総合センターをご利用ください

「ラ・フォレスト」の愛称で親しまれる南河内林業総合センターがリニューアルオープンしました。

30mmの厚さの府内産スギ板を床に敷き詰めた「無垢材体感コーナー」を設置するなど、従来の地域の森林・林業に関する情報発信とともに地域材の利用促進をアピールする機能を強化した施設となっています。

また木材に関する様々なイベント開催も企画しており、森林・林業はもとより地域の活性化に寄与したいと考えています。

組合では、このリニューアルし

た南河内林業総合センター（愛称：ラ・フォレスト）と高槻森林市民交流センター（三島支店に併設）の会議室やギャラリーを組合員の皆様へ貸し出しを行っています。

森林・林業に関する会議はもちろん、地域の会合や趣味で制作した逸品の展示など使用用途は様々。

利用に関する費用は下欄にまとめておりますので、会議室スペースのご利用を検討されている方がおられましたら、ぜひ、この2つの施設も候補に挙げていただければと思います。

■施設名：南河内林業総合センター（ラ・フォレスト）
■所在地：南河内郡千早赤阪村東阪 1238-5

区分	午前	午後	全日
	9時～12時	13時～17時	
研修会議室	1,200	1,500	2,500
ホール	1,200	1,500	2,500
林業展示スペース	1,200	1,500	2,500



南河内林業総合センター

■施設名：高槻森林市民交流センター
■所在地：高槻市大字原 1052-1

区分	平日		休日	
	午前	午後	午前	午後
多目的研究室	1,200	1,600	2,400	3,200
ミーティングルーム	500	800	1,000	1,600



高槻森林市民交流センター

1.「午前」は9時～12時まで、「午後」は13時～17時までとします。
2.冷暖房中の使用料金は、当該使用料金の5割増とします。

木 材 市 況

2月20日市でスギの大径木が出品され、4m末口68cmが280,000円/m³、8m末口58cmが130,000円/m³と高値で落札されるなど、このところスギ・ヒノキ材に関わらず、希少価値の高い優良材は高値での取り引きが続いている状況です。

一方、経済活動の停滞が起因すると思われる合板用材の需要減少が引き金となり、2等材の値下がりが大きくなってきています。

また4月に入り建築用材の需要が低下してきており、並材の平均単価は当共販所のみならず、全国的に下落傾向にあります。

材価の下落により共販所運営が非常に困難な状態となっておりますが、公共事業における木材利用を関係各所に働きかけるなど、木材需要を喚起に向けた活動を組合全体で行っていきたくと考えております。

引き続き、共販所運営に対する皆様からのご支援・ご協力をお願いいたします。

■平成20年10月～平成21年3月期 販売実績と平均単価

樹種	取扱量 (m ³)	平均単価 (円)
スギ	596,979	13,727
ヒノキ	1,568,715	26,305
広葉樹	131,593	77,452

日々活躍 組合職員紹介

今回の職員紹介は、南河内支店の北野素子さんを紹介します。

今回は南河内支店の北野素子さんをご紹介します。

北野さんは合併直後の平成14年4月に組合で採用以来、南河内支店の総務・会計を担当し、丁寧できっちりした仕事ぶりは支店職員のみならず、組合全体でも高い評価を得ています。

彼女のチャームポイントは、その明るいキャラクター。愛想がよく、そこにいるだけで場を和ませることか

ら、休日のイベントなどにも引っ張りだこの状態です。

また学校では英米語を専攻していたにも関わらず、組合で総務・会計の仕事に必要であるということから、2級建設業経理事務士資格にチャレンジし、見事資格取得するなど、頑張り屋の一面も持ち合わせます。

これからも支店のみならず、組合全体を和ませる“癒し系”として、笑顔をふりまいてもらいたいと思います。



北野素子さん

森林環境税導入要望の経過について

平成20年8月1日の総代会で決議され、前号のくみあい通信や地区推進協議会を通じて組合員の皆様に、ご協力をお願いいたしました大阪府における「森林環境税」導入要望に向けた署名につつまして、組合員並びに一般市民の方々からの温かいご支援をいただいた結果、総数18,264名もの署名を集めることができました。

これは地球温暖化対策をはじめ、国家のインフラストラクチャーとして森林を捉えたときに森林所有者のみに、その整備にかかる金銭負担をかけるのではなく、その恩恵を享受する市民全体で負担していこうという考えに基づくもので、すでに全国でも30を超える府県で導入されている目的税であり、その税の創設を大阪府に要望するためのものです。

皆様の善意ともいえる1枚1枚の署名を合本し、平成20年12月8日、大阪府の小河副知事に18,000余名の署名と「森林環境税の導入に関する要望書」とを併せて提出するとともに「森林環境税」導入の必要



小河副知事(右)に署名と要望書を提出

性を説明させていただきました。また同日、大阪府議会の畠議長にも要望書を提出いたしました。

時を同じくし12月12日の大阪府議会本会議で河内長野市選出の西野修平議員より森林環境税創設に向けた質問がなされ、橋下知事より施策に対して府民の意識調査を行い、府民ニーズの把握に努めるといった答弁がなされました。ただ昨秋から端を発した現在の厳しい経済状況の中、また府政改革途上であることから新たな税の創設には慎重な態度を示されました。



本議会で質問に立つ西野議員

当組合では、森林整備に対する所有者の負担を軽減しながら、健全な森林環境づくりを推進するため、新たな府の財源としての森林環境税創設に向け、関係各所に働きかけるとともに、広く一般市民に対しても訴えかけていきたいと考えています。

2009 丸大の夏ギフト

ご贈答には、丸大のハム・ソーセージの詰め合わせをどうぞ。

お問い合わせ先 丸大食品(株) 関西特販営業課
大阪市西成区津守2-1-10 TEL06-6657-0071

おいしさ新鮮
丸大食品